



徳島玉翠会

徳島玉翠会会長
長尾哲見
(昭和44年卒)



東京玉翠会第34回総会の開催誠におめでとうございます。

昨年の総会には徳島支部の会長として6回目の参加でしたが、毎回1,000人を超える規模に慣れてきたところに、会場正面のスクリーンに「第33回東京玉翠会総会最終参加人数1,252名」続いて「高校同窓会参加人数日本一新記録更新！」が表示されると大拍手が沸き、「東京玉翠会第33回総会・讃讃高高NIPPON-1」の垂れ幕を改めて実感させられました。

1,252名によるお祝いの万歳三唱も圧巻でした。毎回の事ですが、演奏や応援団は高松高校の歴史と伝統を感じると共に次回の運営の世代の方々を紹介されますが高松高校の規模の大きさも実感しています。

徳島県も含めた地方では過疎化・少子高齢化が進み、県立高校の合併・統合が行われ、親しまれた高校の名前が消えていく中であって、香川県においては「高松高校は永遠に不滅」と確信すると共に誇りに思います。

今回の総会のテーマは「つなぐ、こえる、我が母校。」との事で今年度の幹事学年は平成最初の高松高校入学生で、昭和の校舎と平成の校舎で学んだ世代で、様々な「つなぐ、こえる」体験を重ねてきたとご案内にありました。

東京支部総会参加の楽しみは今年はどんな催し物が披露されるのかとの期待感と総会後の同期生との二次会でのお互いの近況を語りながらの飲み会で気持ちが高校時代に帰れるひと時です。

最後になりますが東京玉翠会が「日本一」を達成した今、次は「世界一」を目指して益々ご発展されます事を期待しまして徳島からのご挨拶とさせていただきます。